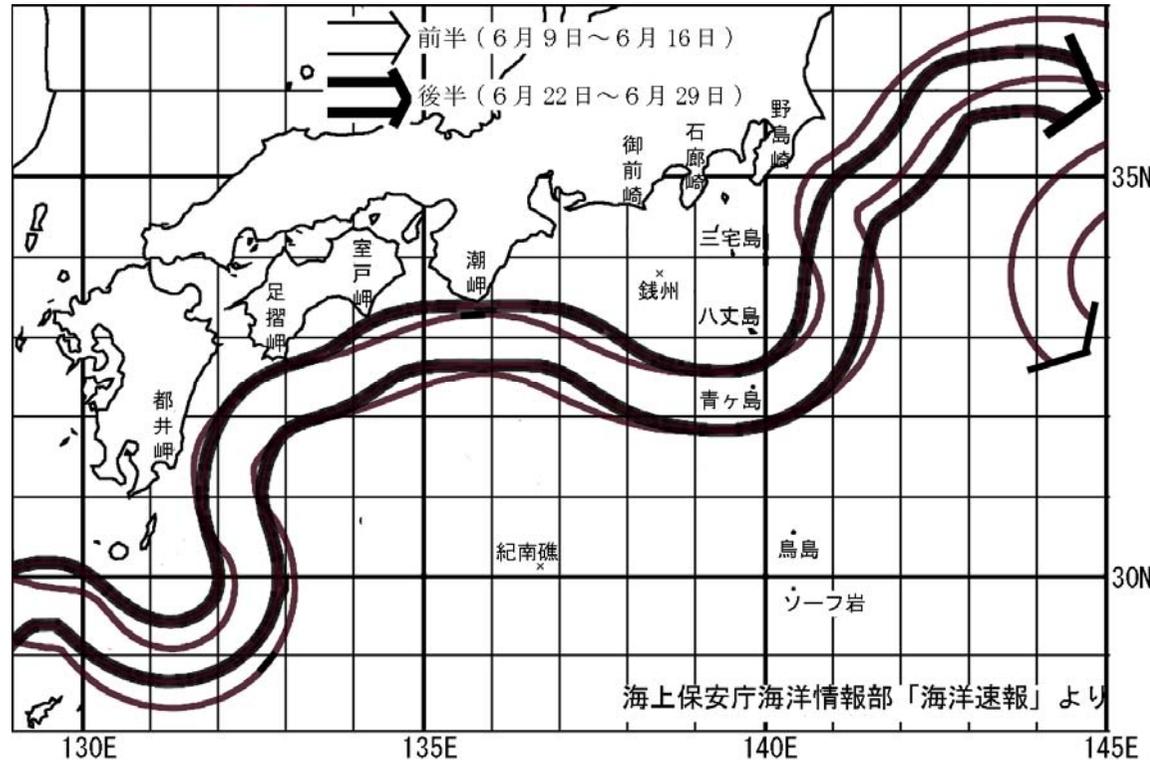


漁海況月報

平成21年 6月 1日

No. 6 ~6月30日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	19.8	20.3	20.2	19.5	20.5	20.0	20.1
	0.0	1.2	0.8	-1.0	-0.2	-0.5	-0.1
中旬	20.6	20.7	20.8	21.1	22.0	20.9	20.2
	0.1	1.2	1.0	-0.2	0.6	-0.2	-0.7
下旬	21.7	20.1	19.2	21.5	23.0	22.2	21.6
	0.5	-0.6	-1.5	-0.7	0.8	0.4	-0.2
月	20.7	20.4	19.9	20.7	21.8	21.0	20.7
	0.2	0.6	-0.1	-0.6	0.4	-0.1	-0.3

【黒潮流路】

6月前半の黒潮は、九州の種子島南東沖で離岸し、九州東岸から潮岬にかけて接岸傾向で流れた。その後、遠州灘沖を東南東に向かい、青ヶ島の西32°N付近まで達し、青ヶ島付近を東北東に向かい、141°Eを北上、房総半島に沿って北東方向に流れた。

6月後半、種子島南東沖では約20マイル接岸した。九州東岸から潮岬では引き続き接岸傾向で流れた。潮岬通過後、33°Nを東進し、大王埼沖から南東に向かい、青ヶ島付近を通り、141°Eを北上した。

なお、6月初旬には、遠州灘沖33°N付近と八丈島付近で発生した小蛇行は規模をやや拡大しながら東進し、中旬には黒潮は32°N付近まで離岸する流路となった。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では19~22°C台、駿河湾では東部、西部とも19~23°C台で経過した。平年に比べ、相模湾側では上・中旬は平年並み~やや高め、下旬は平年並み~低めで、駿河湾側では平年並み~やや低めで、雲見、地頭方では月を通して低め基調で経過した。

沿岸への顕著な暖水波及はみられなかったが、下旬、遠州灘、駿河湾沖では西方から23°C台の暖水が波及した。また、駿河湾西岸と伊豆半島東岸では下旬に沿岸湧昇が生じ、6/24には下田で18.0°C、稲取で17.6°Cを観測し平年差-2.8°Cとなった。下田ではその後も低水温が継続した。

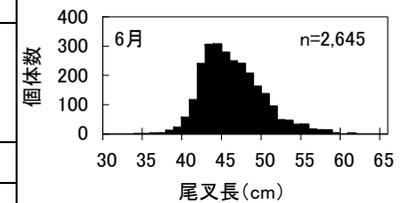
【竿釣近海カツオ】

6月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は304トで前年同期の2.1倍であった。魚価は309円/kgで、前年同期を下回った。

静岡県近海では30°~33°N、139°~141°E付近の青ヶ島、ハロス、鳥島周辺で小・極小(尾叉長44cmモード)、中カツオを漁獲した。なお、下旬には駿河湾沖の暖水波及先端部(23°C台)でも漁場が形成された。

竿釣りカツオ水揚量 (近海・沿岸、県内主要5港)

期間	水揚量(ト)	水揚隻数	水揚/隻(ト)	平均単価(円/kg)
21年6月上旬	77	14	5.5	393
	109	14	7.8	317
	118	20	5.9	246
21年6月計	304	48	6.3	309
20年6月計	148	57	2.6	402
19年6月計	191	62	3.1	301



御前崎港における測定結果

(平成21年から沿岸と近海竿釣り船を合計した値を載せます。)

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は375トで、操業がなかった伊豆山、赤石を除く1漁場当たり水揚量62.5トンは前年51.1ト(6漁場)の122%、平年値(昭和57~平成20年)50.6トンの124%であった。

魚種別水揚量は、①サバ類129.0ト(A:前年同月比107%、B:平年同月比113%)②ワラサ83.6ト(A:1,177%、B:2,263%)③カタクチイワシ76.4ト(A:266%、B:169%)④マアジ25.9ト(A:前年31%、B:28%)⑤スルメイカ15.0ト(A:146%、B:145%)の順であった。

サバ類は北川、谷津、赤沢を中心にゴマサバ主体で入網し、ゴマサバは尾叉長のモード34cm、マサ

バは35cmで、サバッコは18cmにモードがみられた。ブリのうち2007年級群が中心のワラサ銘柄は古網、川奈を中心に入網し、昭和57年以降で最も多く漁獲され、尾叉長のモードは67cmであった。また、2008年級群であるイナダ銘柄は古網中心に2.1トン(A:20%、B:70%)が入網し、尾叉長のモードは50cmにみられた。カタクチイワシは古網、北川を中心に入網し、被鱗体長のモードは11.5cmにみられた。マアジは北川、川奈を中心に入網し、尾叉長のモードは25cmにモードを持つ2007年級群と思われる群が中心で、19cmにモードを持つ2008年級群もみられ、じんた銘柄として10cmにモードを持つ当歳魚もみられた。スルメイカは北川、富戸を中心に入網し、外套背長のモードは17cmと22cmであった。

漁場別水揚量は、古網143トン(ワラサ、カタクチイワシ中心)、北川116トン(サバ類、マアジ、スルメイカ中心)、川奈43トン(ワラサ、マアジ、サバ類中心)の順であった。

【サバたもすくい・棒受網】

今漁期のマサバ水揚は5月31日を以って終了となり、小川港には、たもすくい・棒受網によってゴマサバ850トン(前年同月比109%)が水揚げされた。ゴマサバの1隻あたり水揚量は23.6トン/隻(前年同月比82%)であり、平均単価は56円/kgで前月と同等であった。

たもすくいの漁場は銭洲に、棒受網の漁場は三本、中の瀬に形成された。たもすくいでは、31~32cmモードのゴマサバ2歳魚(2007年級群)が主体となった。棒受網では、28~29cmついで32cmモードのゴマサバ2歳魚(2007年級群)、1歳魚(2008年級群)を主体に、29~30cmモードのオアカムロも漁獲された。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
21年6月上旬	0	314	4	12	0.0	26.1	—	57	銭洲三本
中旬	0	282	6	12	0.0	23.5	—	56	銭洲三本
下旬	0	254	4	12	0.0	21.2	—	56	銭洲三本中の瀬
21年6月計	0	850	14	36	0.0	23.6	—	56	—
20年6月	0	780	12	27	0.0	28.9	—	90	三本銭洲三宅
19年6月	48	998	21	54	0.9	18.5	140	57	三宅三本燧

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

【サクラエビ船曳網】

平成21年春漁は、6月2日夜で終漁となり、1日間の操業で48トンの水揚げがあった。

春漁の水揚量は859トンと、前年の1,298トンを大幅に下回った。これは、時化の影響により出漁日数が前年の19日より2日少ない17日であったこと、例年、春漁で主漁場となる湾奥部での漁場形成が遅れたこと、エビの体長が昨年よりも小さいことなどが原因と考えられた。

平均単価は3,403円/kgと、昭和49年以降、最高値を記録した前年の2,990円/kgを上回ったが、漁獲量が少なかったため、水揚金額は29億2千5百万円と、前年を約9億6千万円下回った。

期 間	水揚量 (トン)	日数	1日1か統当り 平均(kg)	漁 場
平成21年6月 上旬	48	1	平均 800	富士川~由比沖、焼津~大井川沖
平成21年春漁 計	859	17	平均 842	富士川~由比沖、焼津~大井川沖
平成20年春漁 計	1,298	19	平均 1,139	田子の浦沖
平成19年春漁 計	1,296	23	平均 939	沼津~由比沖

【シラス船曳網】

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾が443kg、遠州灘が535kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は507kgと前年同期(908kg)の56%、平年同期(過去5か年平均:487kg)の104%と前年同期を下回ったが、平年同期並みであった。また、総水揚量は1,467.0トンで前年同期(1,521.1トン)の96%、平年同期(1,024.3トン)の143%と前年並みで、平年を上回った。平均単価は714円/kgで、平年同期(649円/kg)を上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	126.2	21	272	464	625
舞 阪	526.2	21	993	530	687
福 田	289.0	19	510	567	696
御前崎	134.7	20	238	566	745
吉 田	289.9	22	526	551	732
静 岡	101.0	17	356	284	922
平成21年6月計	1,467.0		2,895	507	714
平成20年6月計	1,521.1		1,676	908	324
平成19年6月計	1,434.0		2,174	660	334

【まき網】

小川港ではマイワシが15.7トンの水揚げで平年同期(12.0トン)の1.3倍であった。沼津港では、マイワシが560.1トンの水揚げで平年同期(205.2トン)の2.7倍であった。カタクチイワシの水揚げはなかった。静岡港では、マイワシが23.0トンの水揚げで平年同期(59.6トン)の38%であった。カタクチイワシの水揚げは131.2トンで平年同期(391.3トン)の34%であった。伊東港ではマイワシが0.18トンの水揚げで平年同期(0.24トン)の72%であった。

注)平年同期:過去5か年(2004~2008年)平均

【調査船の動向】

富 士 丸

6月 1日 ~ 6月 11日 第2次航海(近海・天皇海山) (11日間)
6月 23日 ~ 6月 30日 第3次航海(天皇海山) (7日間)

駿 河 丸

6月 1日 ~ 6月 3日 地先定線観測 (3日間)
6月 8日 ~ 6月 9日 サクラエビ調査 (2日間)
6月 10日 公共用水域水質測定調査 (1日間)
6月 15日 ~ 6月 16日 短期海況変動調査・サクラエビ産卵調査 (2日間)
6月 17日 ~ 6月 19日 シラス調査 (3日間)
6月 25日 ~ 6月 26日 タチウオ調査 (2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

